様へ

説明医師

説明看護師(外来) 看護師(病棟)

月日	月 日	月	B	
経過	入院日(手術前日)	当日(術前)	当日(術後)	
目標	手術に対する不安を伝えることができ、対	最小限となる	性器出血が少量で新たな出血が みられない 創部痛が緩和し苦痛が最小限で経過する 排便がある排ガスがある	
検 査				
食事	制限ありません 21時以降は 絶飲食となります	絶飲食です 経口補水液は麻酔科の指示で服用		
	朝食は 自宅で ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
処置・観察	体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を ⁻ 測定します			
	除毛を行います 排尿後に膀胱内の残尿量を測定します (2回)	朝7:00頃に浣腸をいたします 午前中に診察があります	手術後は頻回に 体温・脈拍・血圧を測定します	
	リストバンドを装着します (退院日まで装着します)	手術室で尿の管を挿入します 点滴用の針を挿入します	術後酸素マスクがついています	
	 夕食後に浣腸をいたします			
点滴	持参薬、お薬手帳を看護師に お渡しください		手術後の点滴があります ※痛み、むかつきなどがあれば看護師に	
· 内 服	就寝前に下剤を服用します		申し出てください	
 行 動	制限ありません	洗面後、手術着に 着替えてください	床上安静となります	
	҈ ӆ҈シャワーできます	弾性ストッキングを履いてください	※膝の曲げ伸ばし、足首の運動は 行って下さい	
説明	手術に必要な物品を確認します	看護師より説明 (家人の方に) ・手術室の場所と 入室方法について		
	看護師より説明 ・入院生活について			
	薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について			

P2/3

- *入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

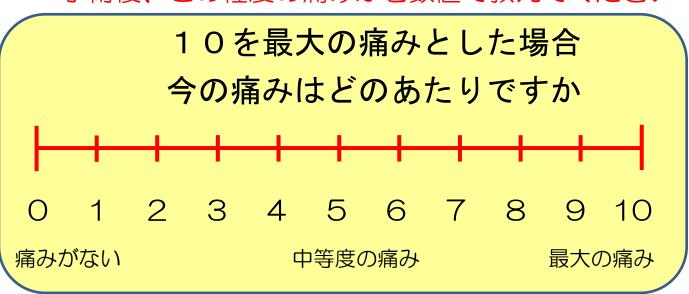
月日	月 日	月 日	月 日
経過	術後1日目	2日目	退院日
目 標	性器出血が少量で新たな出血が みられない 創部痛が緩和し苦痛が最小限で経過する 排便がある排ガスがある	カテーテル抜去後、尿意があり残尿が 50m 排尿時痛、残尿感、発熱がみられない 退院後の生活上の注意点が理解できる	以下となる
検 査			
食事	昼食から 全粥となります	朝食から 普通食となります	診察の結果、問題なければ 朝食後退院となります
e 観 察	体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を 測定します 尿の管を抜去します 尿量測定します	排ガスがなければ腸を 動かす注射をします 排便がなければ 下剤を服用する事があります	便通がない場合、浣腸をします 退院時にリストバンドを外します
点滴	排尿のたびに尿量を計り看護師に 伝えてください 「点滴が朝、夕にあります 点滴終了後、針を抜きます		
内 服			
行動	座位ができます 午後より可能なら 歩行できます 全身を清拭します タオルを2枚ご用意下さい	歩行できます発熱がなければシャワーできます (シャワーが無理な場合は 看護師がシャンプーします)看護師がシャンプーします	↑ 午前中の退院となります シャワーできます (入浴は主治医の許可が 出るまでできません)
説明	看護師より説明 ・早期離床の必要性について ・排尿時の腹圧のかけ方について	医師より説明 ・退院後の治療について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について (パンフレットに沿って説明)	
	※許可あるまで ウォシュレット使用禁止		12_N2O_1

手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された <u>術後疼痛管理チーム(APS)チーム</u>が、患者さんの傷の痛みに対し て、手術前から計画を立て、<u>傷の痛みが軽減するよう</u>取り組んでま いります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale):痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

● 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください。



APS チームがサポートします。 よろしくお願いします。

